

令和6年度岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校入学者選抜

適性検査結果の概要

1 学校別受検状況

学 校 名	募集定員 (a)	志願者数	受検者数 (b)	受検倍率 (b) / (a)	合格者数
岡 山 操 山 中 学 校	120 (120)	352 (345)	340 (341)	2.8 (2.8)	120 (120)
倉 敷 天 城 中 学 校	120 (120)	277 (326)	274 (323)	2.3 (2.7)	120 (120)
津 山 中 学 校	80 (80)	173 (148)	170 (147)	2.1 (1.8)	80 (80)
岡山大安寺中等教育学校	160 (160)	473 (480)	469 (473)	2.9 (3.0)	160 (160)
計	480 (480)	1,275 (1,299)	1,253 (1,284)	2.6 (2.7)	480 (480)

() は令和5年度

2 適性検査Ⅰ及びⅡの全体最高、最低、平均点(100点法換算)

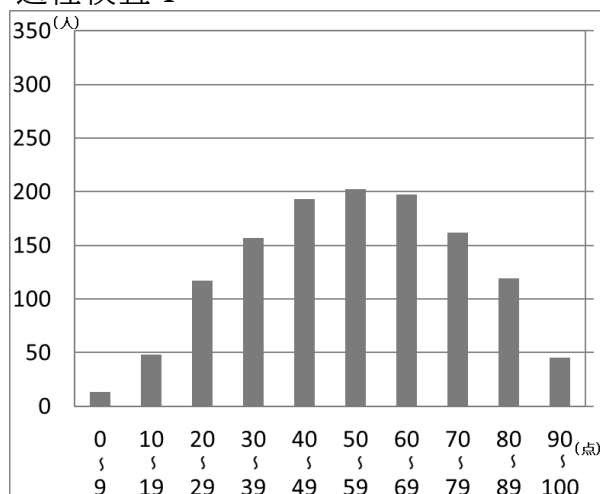
	R 6			R 5	R 4
	最高点	最低点	平均点	平均点	平均点
適性検査Ⅰ	100	0	54.0	43.9	53.2
適性検査Ⅱ	89	6	48.0	52.6	54.5

(適性検査Ⅰ：身のまわりの事象や自然の現象等を題材としたもの)

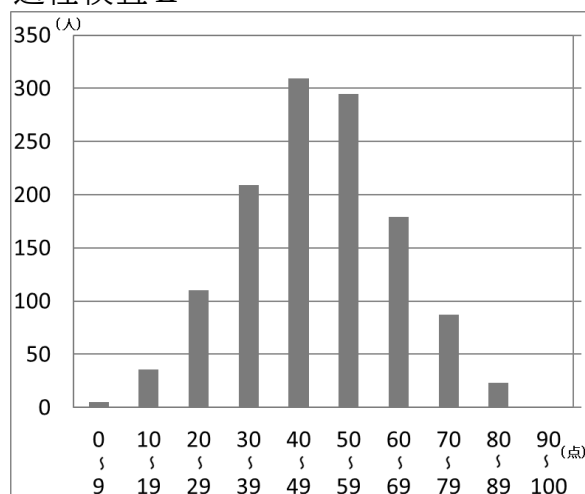
(適性検査Ⅱ：日常生活や社会的事象に関する文章や資料等を題材としたもの)

3 度数分布

適性検査Ⅰ



適性検査Ⅱ



本冊子は、課題ごとに次のとおり構成されています。

1 適性検査Ⅰ（課題１～３）

出題のねらい

- （１）課題１ 設問（１）～（２）
- （２）課題２ 設問（１）～（３）
- （３）課題３ 設問（１）～（３）
 - （ア）設問のねらい
 - （イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容
 - （ウ）応答率
 - （エ）正答例

2 適性検査Ⅱ（課題１～３）

出題のねらい

- （１）課題１ 設問（１）～（３）
- （２）課題２ 設問
- （３）課題３ 設問（１）～（３）
 - （ア）設問のねらい
 - （イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容
 - （ウ）応答率
 - （エ）正答例（課題２は評価基準）

目 次

1 適性検査Ⅰ	
出題のねらい	1
（１）課題１	
設問（１）	2
設問（２）	3
（２）課題２	
設問（１）	5
設問（２）	6
設問（３）	7
（３）課題３	
設問（１）	8
設問（２）	9
設問（３）	11
2 適性検査Ⅱ	
出題のねらい	12
（１）課題１	
設問（１）	13
設問（２）	14
設問（３）	15
（２）課題２	
設問	16
（３）課題３	
設問（１）	17
設問（２）	18
設問（３）	19

1 適性検査Ⅰ

出題のねらい

ア 全般的なねらい

身のまわりの事象や自然の現象等を題材として、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」など、小学校等の教育において身に付けている総合的な力をみる。

イ 課題ごとのねらい

課題1

身のまわりの事象における問題解決の過程の中で、数学的な見方・考え方や理科の見方・考え方を働かせ、必要な情報を捉え、選択・活用しながら課題を解決する力をみる。

課題2

日常生活で見られる事物・現象に疑問をもち、根拠のある予想や仮説を発想し、実験を構想したり既習事項や実験結果と結び付けて考察したりする力をみる。

課題3

身のまわりの事象について、既習の知識を活用し、図形の計量について考察する力や、数量の特徴を読み取り多面的に考え表現する力をみる。

(1) 課題1

太郎さんと花子さんは、住んでいる地域を活性化させるために自分たちにできることは何かを考え、地域の自治会の方に相談したところ、次のようなリクエストが届きました。あとの(1)、(2)に答えましょう。

《自治会からのリクエスト》

- ① 新しい観光スポットとして、駅前の大きな木をイルミネーションでかざってほしい。
- ② 点灯時間帯は17時から23時までとし、1時間ごとにふん囲気が変わるようにしてほしい。
- ③ 20時から21時の時間帯は、人通りが多いので、はなやかになるように工夫してほしい。

太郎：ふん囲気が変わるイルミネーションにするには、複数の種類の電球を使いたいね。

花子：理科の授業で3つの電球を図1のようにつないだとき、電流が矢印のように流れたから電球が光ったね。

太郎：この回路にスイッチをつけると、点灯させる電球を変えることができそうだね。

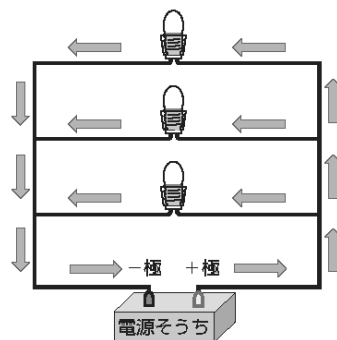


図1

設問（１）

- （１） 太郎さんと花子さんは、３種類の電球Ａ、Ｂ、Ｃを用意し、表１のように点灯させる電球と点灯させない電球の組み合わせを考え、図２のような表１のすべての組み合わせを点灯させることができる回路を作りました。花子さんは、図２の回路のスイッチのうちいくつかを、スイッチから導線に変えても、表１のすべての組み合わせを点灯させることができることに気づきました。使用するスイッチの数を最も少なくするには、同時に何個のスイッチを取り外すことができますか。取り外すことができるスイッチの数を書きましょう。また、その組み合わせのうち１つを記号で答えましょう。

表１ 点灯させる電球と点灯させない電球の組み合わせ（○は点灯する電球）

電球Ａ	○			○		○	○
電球Ｂ		○		○	○		○
電球Ｃ			○		○	○	○

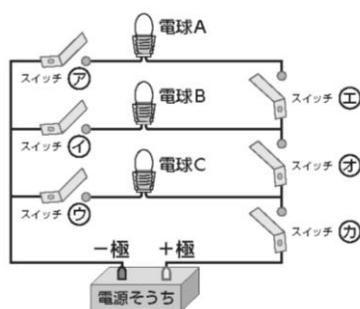


図２

スイッチの数	個
組み合わせ	

（ア）設問のねらい

複数のスイッチを組み込んだ回路について、電流の向きとつないだものの様子に着目し、電気を通すつなぎ方を理解しているかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

理科	第３学年	A 物質・エネルギー （５）電気の通り道 ア（ア） 電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があること。
	第４学年	A 物質・エネルギー （３）電流の働き ア（ア） 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わる。

（ウ）応答率

（１）	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	29.5%	3.1%	62.3%	5.1%

（エ）正答例

【スイッチの数】	3（個）	【組み合わせ】	エオカ（アオカ も可）
----------	------	---------	-------------

設問（２）

太郎：自治会からのリクエストをもとに表２の点灯計画を作って、自治会の方に見てもらったら、追加のリクエストが届いたよ。

花子：自治会からの追加のリクエストもふまえて、新しい点灯計画を考えてみようよ。

（２） 表２は、太郎さんたちが、最初に作成した３種類の電球Ａ、Ｂ、Ｃを使った点灯計画です。表３は、各電球を１時間点灯させたときに必要な電気代を表したものです。電球Ａと電球Ｂをそれぞれ１時間点灯させたとき、電球Ａは電球Ｂの何倍電気代がかかるか答えましょう。

また、《自治会からの追加のリクエスト》をふまえた【新しい点灯計画】を考え、解答らんの表に○印と合計点灯時間を書きましょう。ただし、２０時から２１の時間帯はすべての電球を点灯させるようにします。

《自治会からの追加のリクエスト》

- ① 新しい点灯計画も、表２の点灯計画全体でかかる電気代と同じになるようにしてほしい。
- ② 点灯している電球の組み合わせは、１時間ごとに変わるようにしてほしい。
- ③ 各電球の合計点灯時間は、表２の点灯計画の合計点灯時間とすべて異なるようにしてほしい。

表２ 点灯計画（○印は点灯させる時間帯）

電球の種類 \ 点灯時間帯	17～18時	18～19時	19～20時	20～21時	21～22時	22～23時	合計点灯時間
電球Ａ		○	○	○		○	４時間
電球Ｂ		○	○	○	○		４時間
電球Ｃ	○			○	○	○	４時間

表３ 各電球を１時間点灯させたときに必要な電気代

電球Ａ	電球Ｂ	電球Ｃ
２.７円	３.６円	４.５円

解答らん

電球Ａは電球Ｂの 倍
電気代がかかる。

【新しい点灯計画】

電球の種類 \ 点灯時間帯	17～18時	18～19時	19～20時	20～21時	21～22時	22～23時	合計点灯時間
電球Ａ				○			時間
電球Ｂ				○			時間
電球Ｃ				○			時間

（ア）設問のねらい

小数で表された二つの数量について、どちらか一方を基準とした割合を、比の値を用いて表すことができるかをみる。

追加のリクエストを踏まえた新しい点灯計画を立てる過程の中で、割合を手掛かりとしながら、結果を確かめたり、発展的に考察したりすることができるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

算数	第4学年	C 変化と関係 (2) 簡単な場合についての割合 ア (ア) 簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知ること。
	第5学年	〔数学的活動〕 (1) イ 算数の学習場面から算数の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動
	第6学年	C 変化と関係 (2) 比 イ (ア) 日常の事象における数量の關係に着目し、図や式などを用いて数量の關係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かすこと。

(ウ) 応 答 率

(2)	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	17.0%	67.8%	13.3%	1.9%

(エ) 正 答 例

(電球Aは電球Bの) $\frac{3}{4}$ (倍電気代がかかる) (0.75も可)

【新しい点灯計画】

例1

点灯時間帯 電球の種類	17～ 18 時	18～ 19 時	19～ 20 時	20～ 21 時	21～ 22 時	22～ 23 時	合計点灯 時間
電球A		○		○		○	3時間
電球B	○	○	○	○	○	○	6時間
電球C	○			○	○		3時間

例2

点灯時間帯 電球の種類	17～ 18 時	18～ 19 時	19～ 20 時	20～ 21 時	21～ 22 時	22～ 23 時	合計点灯 時間
電球A	○	○	○	○		○	5時間
電球B		○		○			2時間
電球C	○	○		○	○	○	5時間

(2) 課題2

次の(1)～(3)に答えましょう。

設問(1)

(1) 花子さんは、橋をわたっているとき、橋のつなぎ目にすき間が空いていることに気づきました(写真1の矢印の部分)。写真2は、橋のつなぎ目の様子を真上からさつえいしたものです。橋のつなぎ目にすき間が空けられているのは、金属が使われている橋をこわれにくくするための工夫です。その工夫をしている理由となる、ものの温度と体積の関係について説明しましょう。

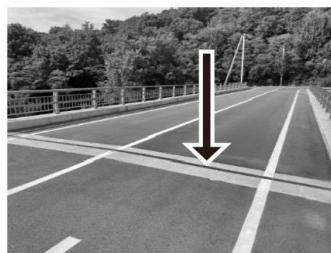


写真1

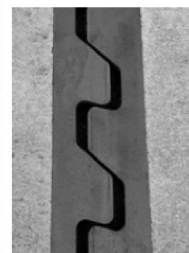


写真2

(ア) 設問のねらい

日常生活で見られる道路橋の伸縮装置の役割について、金属の温度変化に伴う体積変化と関連付けて考察し、説明することができるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

理科	第4学年	A 物質・エネルギー
		(2) 金属、水、空気と温度
		ア(ア) 金属、水及び空気は、温めたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあること。 イ 金属、水及び空気の性質について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、金属、水及び空気の温度を変化させたときの体積や状態の変化、熱の伝わり方について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。

(ウ) 応答率

(1)	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	86.8%	0.7%	9.7%	2.8%

(エ) 正答例

ものは温度が高くなると体積が大きくなり、温度が低くなると体積が小さくなる。

設問（２）

（２） 運動場の土は、つぶの大きさのちがうものが混ざっています。太郎さんは、雨が降った後の運動場を見て、表面に大きいつぶが目立っていることに気づきました。

太郎：昨日運動場の整備をしたばかりなのに、なぜつぶの大きいものが目立っているのかな。

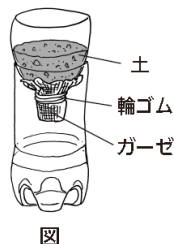
花子：雨が降ったことと関係があるのかもしれないね。実験して調べてみよう。

太郎さんと花子さんは、雨が降った後の運動場の表面に大きいつぶが目立つ理由を確かめるために、次のような方法で実験し、実験結果をまとめ考察しました。【考察】の空らん「ア」に入る内容について、つぶの大きさのちがいにふれながらあなたの考えを解答らんに書きましょう。

【実験方法】

① 雨が降る前の運動場の土を用意し、つぶの大きさを観察する。

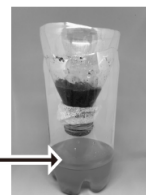
② ペットボトルで右の図のようなそうちを作り、その土を入れた後、水をそそぐ。



③ １分後、水のしみこみ方とペットボトルの底にたまった水の様子を観察する。

【実験結果】

水をそそぐ前の土のようす	小さいつぶと大きいつぶが混ざっていた。
水をそそいだ後のようす	・ 水はゆっくりしみこんだ。 ・ にごった水がたまっていた。



【考察】

ペットボトルの底に、にごった水がたまったという実験結果から、雨が降った後の運動場の表面に大きいつぶが目立つ理由は、

ア

からといえる。

（ア）設問のねらい

雨水のしみ込みによって起きる地面の様子について、実験結果からいえることの視点で分析して考察し、その内容を記述できるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

理科	第４学年	B 生命・地球 (３) 雨の行方と地面の様子 ア（イ） 水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあること。
	第５学年	B 生命・地球 (３) 流れる水の働きと土地の変化 ア（ア） 流れる水には、土地を浸食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。 イ 流れる水の働きについて追究する中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。

（ウ）応答率

（２）	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	33.8%	40.9%	23.9%	1.3%

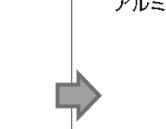
（エ）正答例

【ア】雨がしみ込むときに小さいつぶは水と一緒に流され、大きいつぶが残される。

設問（３）

（３） 太郎さんと花子さんは、植物の葉に日光が当たるとでんぷんが作られることを確かめるために、次のような実験を計画しています。

【実験計画】

	7月24日 夕方	7月25日 朝	7月25日 正午過ぎ
方法	よく日光に当たった8枚のジャガイモの葉（A）に、アルミニウムはくをかぶせて日光を葉に当てないようにする（B）。	4枚の葉のアルミニウムはくをはずし（C）、のこり4枚はかぶせたままにする（D）。正午まで、全体に日光が当たるようにする。	全体をしっかりと日光に当てた後、アルミニウムはくをはずしたままの葉（E）にでんぷんがあるか、ヨウ素液を使って調べる。
葉のようす	 	 	

太郎：（E）の葉にでんぷんがあったら、植物の葉に日光が当たるとでんぷんが作られるといえるね。

花子：待って。（E）の葉を調べただけで、それがいえるのかな。

実験計画を見直すと、植物の葉に日光が当たるとでんぷんが作られることを確かめるには、今の実験計画では不十分であることがわかりました。（A）～（F）のどの葉に対して、何をしなければならぬか2つ書きましょう。

（ア）設問のねらい

植物の養分について、自分で発想した実験方法が仮説を確かめられるものになっているかを検討して、改善し、自分の考えをもつことができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

理科	第6学年	B 生命・地球 （２）植物の養分と水の通り道 ア（ア） 植物の葉に日光が当たるとでんぷんができること。 イ 植物の体のつくりと働きについて追究する中で、体のつくり、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。
----	------	--

（ウ）応答率

（３）	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	23.1%	54.7%	17.9%	4.3%

（エ）正 答 例

C（の葉に対して、）でんぷんがないことを調べる。

F（の葉に対して、）でんぷんがないことを調べる。

(3) 課題3

次の(1)～(3)に答えましょう。

設問(1)

(1) あるお店で、1個 80 円のパンを 100 個仕入れました。そのパンを1個 100 円ではん売したところ、65 個売れました。仕入れたパンをすべて売るために、1個あたりの値段ねだんを下げて、残りのパンを売ろうと思います。パンをすべて売り切ったときの利益を 1650 円にするためには、残りのパンを1個あたりいくらで売ればよいか答えましょう。ただし、消費税は考えないものとします。

(ア) 設問のねらい

身の回りの事象において、目的に応じて問題場面の数量関係に着目し、問題を数理的に処理して解決することができるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

算数	第4学年	A 数と計算 (6) 数量の関係を表す式 イ(ア) 問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。
----	------	---

(ウ) 応答率

(1)	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	65.4%	0.0%	28.2%	6.5%

(エ) 正 答 例

90 (円で売ればよい)

設問（２）

（２） 保健委員である太郎さんと花子さんは、保健室について話をしています。

太郎：保健室にけがをした人や体調が悪くなった人が続けて来ることがあるから、仕切りを立てると、その後ろで落ち着いて手当てを受けることができるようになるね。

花子：どれくらいのはん囲が見えなくなるのかな。



仕切りの様子

太郎さんたちは保健室の中の仕切りの場所を決めて、保健室を真上から見た様子を図１のようにかきました。太郎さんは、点Pと点Qの位置に立ち、仕切りの方向を見たときに見えなくなるゆかのはん囲の面積についてそれぞれ調べることにしました。

太郎さんが点Pに立ったときに見えなくなるゆかのはん囲㊟を図２のように表しました。太郎さんが次に点Qに立ったときに見えなくなるゆかのはん囲㊿を、図２の表し方にしたがって解答らんの図３にかきましょう。また、㊟と㊿の面積を比べるとどのようになりますか。次のア～ウから記号を選び、その理由を言葉や式を使って説明しましょう。ただし、仕切りはゆかに垂直に立て天井まであるものとし、厚みは考えないこととします。

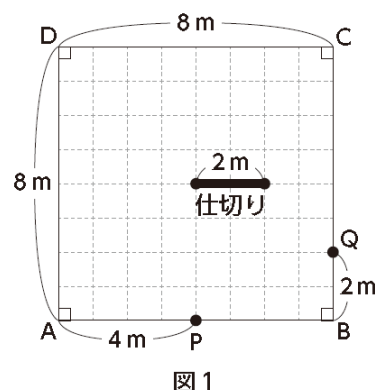


図１

- ア ㊟の面積の方が大きい。
- イ ㊿の面積の方が大きい。
- ウ ㊟と㊿の面積は等しい。

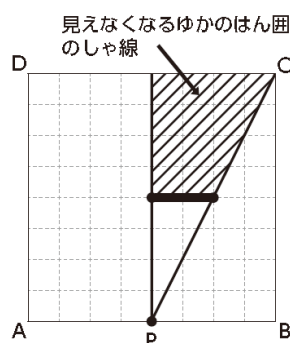


図２ 点Pに立つとき、見えなくなるゆかのはん囲㊟

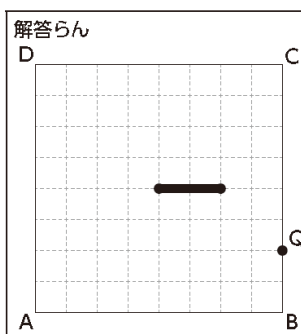


図３ 点Qに立つとき、見えなくなるゆかのはん囲㊿

記号

説明

（ア）設問のねらい

これまでに学習してきた基本的な図形を対応させ、測定する見通しをもち面積を求めるとともに、筋道をたてて考察し、考えた過程を説明することができるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

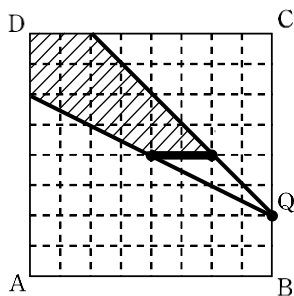
算数	第5学年	B 図形 (3) 平面図形の面積 ア (ア) 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解すること。
	第6学年	B 図形 (2) 概形とおよその面積 イ (ア) 図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考え、それを日常に生かすこと。 〔数学的活動〕 (1) ア 日常の事象を数理的に捉え問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動

(ウ) 応答率

(2)	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	41.9%	46.9%	9.3%	1.9%

(エ) 正答例

【図3】



【記号】 ウ

【説明】

(正答例1) 図2から、点Pの位置から見えなくなるゆかのはん囲㊟は台形となり、㊟の面積は $(2 + 4) \times 4 \div 2 = 12 \text{ m}^2$ となる。点Qの位置から見えなくなるゆかのはん囲㊨は、図3のように三角形と平行四辺形を合わせた図形となり、㊨の面積は $2 \times 4 \div 2 + 2 \times 4 = 12 \text{ m}^2$ となる。
よって、㊟と㊨の面積は等しい。

(正答例2) 図2から、点Pの位置から見えなくなるゆかのはん囲㊟は台形となり、㊟の面積は $(2 + 4) \times 4 \div 2 = 12 \text{ m}^2$ となる。点Qの位置から見えなくなるゆかのはん囲㊨は、図3のように底辺と高さの長さが等しい3つの三角形を合わせた図形となり、㊨の面積は $(2 \times 4 \div 2) \times 3 = 12 \text{ m}^2$ となる。
よって、㊟と㊨の面積は等しい。

設問（３）

（３） 太郎さんの家に、親せきにももを送ったときの宅配業者のレシートがありました。太郎さんは、図４の同じ宅配業者の６枚のレシートのうち、３枚のレシートを見て、重さ（kg）、きょり（km）、料金（円）のうち、比例の関係になっている２つの数量の組み合わせがあることを見つけました。あなたが太郎さんなら、見つけた組み合わせの１つをどのように説明しますか。解答らんの空らんを選んでレシート番号とあてはまる言葉を書き、２つの数量が比例の関係になっていると考えた理由を説明しましょう。

レシート①	レシート②	レシート③	レシート④	レシート⑤	レシート⑥
重さ 5 kg きょり 5 km 料金 400 円	重さ 15 kg きょり 15 km 料金 3600 円	重さ 5 kg きょり 40 km 料金 3200 円	重さ 20 kg きょり 5 km 料金 1600 円	重さ 10 kg きょり 5 km 料金 800 円	重さ 5 kg きょり 10 km 料金 800 円

図 4

解答らん

レシート番号 から、 は に比例していることがわかる。

なぜなら、

（ア）設問のねらい

伴って変わる二つの数量の間の対応関係に気付き、変化や対応の特徴を明らかにしながら、なぜそのような関係が成り立つかを説明することができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

算数	第 5 学年	C 変化と割合 (1) 伴って変わる二つの数量の関係 イ（ア） 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。
----	--------	--

（ウ）応 答 率

（３）	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	37.0%	21.6%	32.9%	8.5%

（エ）正 答 例

（正答例 1）

（レシート番号）①④⑤（から、）料金（は）重さ（に比例していることがわかる。）

（なぜなら、）重さが 2 倍、4 倍となると、それにとともなってもう一方の料金も 2 倍、4 倍となっているから。

（正答例 2）

（レシート番号）①③⑥（から、）料金（は）距離（に比例していることがわかる。）

（なぜなら、）距離を x km、料金を y 円とすると、 y の値を x の値で割った商は決まった数の 80 になっているから。

2 適性検査Ⅱ

出題のねらい

ア 全般的なねらい

日常生活や社会的事象に関する文章や資料等を題材として、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」など、小学校等の教育において身に付けている総合的な力をみる。

イ 課題ごとのねらい

課題1

説明的な文章を読んで、語句のまとまりや関係、構成や変化について理解し、語彙を豊かにしているかをみる。また、叙述を基に内容の中心となる事柄を把握し、「本を紹介する」という目的に応じて内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えを的確にまとめることができるかをみる。

課題2

示された課題に対し、理由や事例を明確にしながら、筋道を立てて自分の考えを文章に書くことができるかをみる。

課題3

地域の産業についての問題解決的な学習場面を設定し、海と森林をテーマとした資料を読み取りながら、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、考えたことや選択・判断したことを適切に表現することができるかをみる。

(1) 課題1

太郎さんの学級では、自分の好きな本をしょうかいする活動を行うことにしています。次の文章は、太郎さんの【しょうかいしたい本の一部】です。太郎さんのグループでは、この本の【しょうかいカード】を作成して、学級の他の友だちに伝えたいことについて話し合っています。これを読んで、(1)から(3)に答えましょう。(野口嘉則著『自分を好きになれない君へ』から)

【しょうかいカード】

「自分らしさ」とは？

野口嘉則 「自分を好きになれない君へ」

●おすすめポイント

①コオロギと(ア)ムカデのたとえがあってわかりやすい。

②(イ)「自分らしさ」についてなやんでいる人へのヒントになる。

【話し合いの様子の一部】

- 花子 しょうかいカードの――線部(ア)「ムカデのたとえ」って何のことかわかるかな。何をたとえているか説明した方がいいかもしれないね。
- 次郎 「A」の姿が、動けなくなっているムカデの姿にたとえられていること」を伝えたら、この本を読みたくなるかもしれないね。
- 太郎 タイトルを「『自分らしさ』とは？」としたけれどどうかな。私は、これから天職を見つけるには自分らしさがカギとなると思ったからそうしたんだ。
- 花子 なるほど。天職って天から与えられた職・仕事のことだね。「仕事を選ぶとき、自分らしい仕事かどうかわからなくても、Bによって、自分らしさが見つかることもある」という筆者の考えを伝えてみてはどうか。

次郎	そうだね。ところで、どうして——線部（イ）「『自分らしさ』についてなやんでいる人へのヒントになる」と思ったのかな。
太郎	個性について、「いまの世の中の考え方」と「筆者が伝えたいこと」とでは、対照的になっているから、なやみを解決するきっかけになると思ったんだ。
花子	いまの世の中では、個性は C と考えているのに、筆者は、個性を D ものと表しているよね。
太郎	そうか。花子さんの意見を本をしようかいするときに必ず伝えよう。

設問（１）

（１）	読書好きな人のことを「本の虫」ということがあります。このように「虫」の字を使った人の様子や感情をたとえている表現やことわざ・慣用句のうち、「虫」で終わるものと「虫」から始まるものを一つずつ書きましょう。ただし、「本の虫」はのぞきます。
-----	---

（ア）設問のねらい

慣用句やことわざ等の表現を理解し、言語生活で用いるなど、語彙を豊かにしているかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

国語	第5学年 及び 第6学年	〔知識及び技能〕
		（１）オ 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。

（ウ）応答率

（１）	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	27.9%	39.9%	17.7%	14.5%

（エ）正 答 例

「虫」で終わるもの……飛んで火にいる夏の虫、泣き虫、腹の虫 等
「虫」から始まるもの…虫がいい、虫の知らせ、虫の居所が悪い 等

設問（２）

（２） 【話し合いの様子の一部】を読んで、あなたが次郎さんならどのように話しますか。空らんAに入る内容を十五字以内で書きましょう。（ 、や 。や「 」なども一字に数えます。）

（ア）設問のねらい

文章を読み、寓話による比喩を用いた表現の工夫に着目し、何をたとえているかを捉えることができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

国語	第5学年 及び 第6学年	〔知識及び技能〕 (1) ク 比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと
		(1) ア 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。

（ウ）応 答 率

（２）A	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	0.1%	51.3%	47.3%	1.3%

（エ）正 答 例

A 考えすぎてしまういまの若い人（１４字）

設問（３）

（３） 【話し合いの様子の一部】を読んで、あなたが花子さんならどのように話しますか。空らんB、C、Dに入る内容を書きましょう。ただし、空らんBは二十字以内、空らんCは三十字以内、空らんDは三十五字以内で書きましょう。（ 、や 。や「 」なども一字に数えます。）

（ア）設問のねらい

叙述を基に内容の中心となる事柄を把握し、目的に応じて中心となる語や文を見付けて要旨を捉え、自分の考えをまとめることができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

国語	第5学年 及び 第6学年	〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと （１）エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。
		〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと （１）ア 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。

（ウ）応 答 率

（３）		正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
B	割合	6.5%	51.2%	40.0%	2.2%
C	割合	4.5%	50.6%	36.5%	8.5%
D	割合	0.9%	87.0%	8.5%	3.6%

（エ）正 答 例

- B まずは仕事をやってみて、続けてみる（１９字）
 C 始めから自分の中であって、それが何か理解した上で生かすもの（２９字）
 D 仕事や出会いによって変化し、あわてて探し求めなくても自然とにじみ出る（３４字）

(2) 課題2

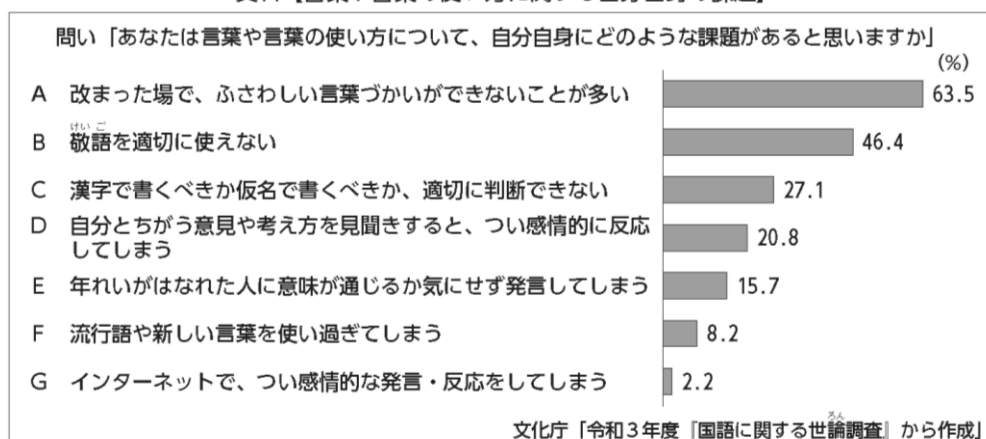
設問

次の資料は【言葉や言葉の使い方に関する自分自身の課題】を調査した項目の一部です。この資料にある項目の中で、あなた自身は言葉や言葉の使い方をより良くするためにどのようなことに気がつきたいですか。項目A～Gの中から一つ選び、そのアルファベットを□に書き、選んだ理由と、今後どのようなことに気がつけたいかについて、次の条件に合わせて具体的に書きましょう。

〈条件〉

- 書き出しの言葉に続けて二百字以内で書くこと。（、や。や「」なども一字に数える。）
- マス目から書くこと。また、とちゅうで行を変えないこと。

資料【言葉や言葉の使い方に関する自分自身の課題】



私は□を選びました。なぜなら、

(ア) 設問のねらい

示された課題に対し、理由や事例を明確にしながら、筋道を立てて自分の考えを文章に書くことができるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

国語	第5学年	〔思考力、判断力、表現力等〕
	及び 第6学年	B 書くこと (1) ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。

(ウ) 応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	8.7%	80.8%	9.9%	0.6%

(エ) 評価基準

自分自身の言語活動を振り返り、自分が課題に思う言葉や言葉の使い方を選び、課題や今後どのように気を付けたいかについて具体的に書いてあり、筋道を立てて200字以内で述べているものを評価する。

(3) 課題3

太郎さんたちは、地域の産業について、調べ学習を行っています。あとの会話文を読んで、(1)～(3)に答えましょう。

設問(1)

太郎：市役所のホームページには、漁業がこの地域を代表する産業だとして紹介されていたけれど、ほかに情報を集めるよい方法はないかな。

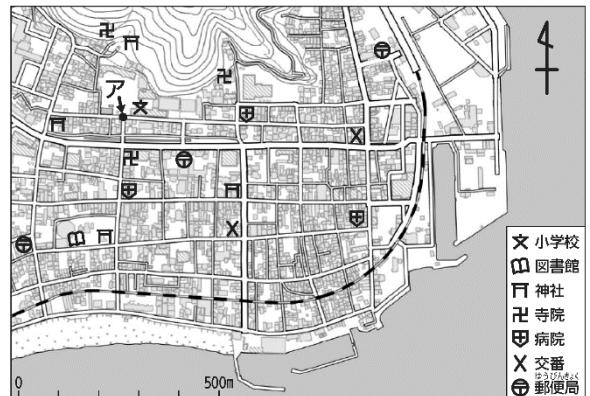
花子：漁師さんに直接、話を聞いてみてはどうか。

次郎：漁師さんに話を聞く前に、図書館で情報を集めて、漁師さんに質問することを考えようよ。私が地図を使って図書館まで案内するよ。

- (1) あなたが次郎さんなら、どのように道案内しますか。次の条件をふまえて、右の地図中のアから図書館まで歩くコースを文章の書き出しの言葉に続けて書きましょう。

〈条件〉

- 進む方向は、方位を使って示すこと。また、進む方向が変わるときは、目印になる地図記号の建物の名前と進む方位を示すこと。
- 進むきよりは、地図中の縮尺しゆくしゃくを使って、百の位までのがい数で示すこと。



(国土地理院地図をもとに一部改変して作成)

(ア) 設問のねらい

地図の特性に留意して、条件に従い、方位、縮尺、地図記号といった情報から選択・判断し、目的地までのコースを適切に表現することができるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

社会	第3学年	(1) ア (ア) 身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解すること。 (1) イ (ア) 都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現すること。
----	------	--

(ウ) 応答率

(1)	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	31.0%	61.6%	3.8%	3.5%

(エ) 正答例

(地図中のアから) 南に向かって約300m進むと神社があるので、その交差点を西に曲がって約100m進むと目的地の図書館に着く。

設問（２）

太郎：集めた情報をもとに、漁師さんに質問したから、たくさん話を聞くことができたね。

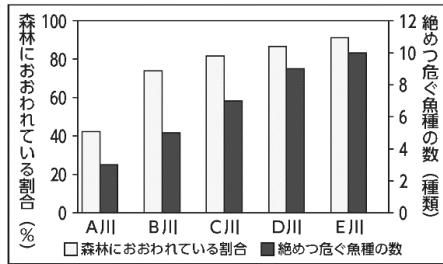
花子：漁師さんの「海と森林は深い関係がある」という言葉が印象に残ったよ。

次郎：図書館で見つけた資料１と資料２は、漁師さんの言葉とつながっているようだね。

（２） 海と森林の関係について、資料１と資料２から読み取ったことをそれぞれ書きましょう。

また、資料１と資料２のそれぞれから読み取ったことをふまえて、森林が漁業に与えるえいきょうについて、あなたの考えを書きましょう。

資料１ 川ごとの河口域※１に生息している
絶めつ危ぐ魚種の数※２と流域※３
が森林におおわれている割合



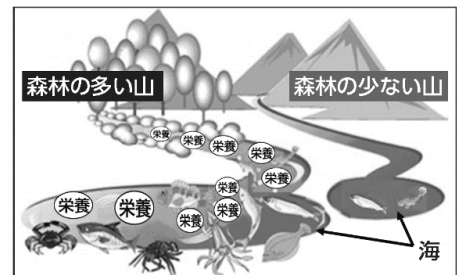
（国立環境研究所資料をもとに作成）

※１ 河口域…川が海につながっている地域

※２ 絶めつ危ぐ魚種の数…地球上からいなくなる
危険性が高い魚の種類の数

※３ 流域…川に水が流れこむはん囲

資料２



（海洋政策研究所資料をもとに作成）

（ア）設問のねらい

資料の特性に留意して、情報を読み取り、社会的現象の特色や相互の関連から考えたことや選択・判断したことを適切に表現することができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

社会	第５学年	（５）イ（イ） 森林資源の分布や働きなどに着目して、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現すること。
----	------	--

（ウ）応答率

（２）		正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
資料１	割合	71.8%	0.0%	26.7%	1.5%
資料２	割合	48.0%	41.1%	9.1%	1.8%
影響	割合	44.0%	0.0%	51.7%	4.3%

（エ）正答例

・資料１から読み取ったこと

森林におおわれている割合が大きいほど生息している絶めつ危ぐ魚種の数が多いことが分かる。

・資料２から読み取ったこと

森林の多い山は森林の少ない山にくらべて、川や海の生き物が必要とする栄養が多く流れ出して、多くの種類の魚がいることが分かる。

・森林が漁業に与えるえいきょう

森林の働きによって、多くの種類の魚が生息することができるようになり、漁かく量の増加にえいきょうをあたえている。

設問（３）

太郎：新聞記事（資料３）に、森林を守るための森林環境税^{かんきょう}のことがのっていたね。

花子：森林を守るには、教科書で学習した資料４の状況^{じきやう}も考えておく必要があるね。

次郎：森林環境税で集めたお金をどのように使うと森林を守ることにつながるかな。

（３） 資料３の森林環境税で集めたお金をどのようなことに使い、その使い方によって何ができるようになると思いますか。資料４をふまえながら、具体的にあなたの考えを書きましょう。

資料３ 新聞記事

※財源…お金のでところ	い。	野に立って知恵をしばらくた	解決策は何か、長期的な視	森林を守るために有効な	ぐべきだと判断した。	安定的に確保し、対策を急	森林整備にあてる財源を	ることがある。各市町村の	した土砂災害が相次いでい	届いていないことを原因と	では、森林の手入れが行き	わけて集める「森林環境税」	である。導入の背景の一つ	年間で千円をその他の税とあ	る人を対象に、１人当たり	される。一定の収入があ	税が２０２４年度から導入	森林を守るための新しい	使い道が問われる	森林環境税

資料４ 日本国内の林業で働く人の数とそのうち 65 才以上がしめる割合

	林業で働く人の数	65才以上の割合
1985 年	126,343 人	10 %
1995 年	81,564 人	23 %
2005 年	52,173 人	27 %

（林野庁資料をもとに作成）

（ア）設問のねらい

国や地方公共団体の政治の取組を把握して、林業の発展や森林資源の保全に関連する課題の解決に向けた自分の考えを表現することができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

社会	第 5 学年	（５）ア（イ） 森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解すること。
	第 6 学年	（１）ア（イ） 国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解すること。 （１）イ（イ） 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現すること。

（ウ）応 答 率

（３）	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	43.3%	41.3%	7.1%	8.2%

（エ）正 答 例

林業で働く人の減少と高れい化の課題を解決するために、森林かん境税を林業に必要な機械を買うための補助金として使うことによって、少ない人数や高れい者でも森林の手入れがしやすくなる。

